

なるほどの♪



学校教育担当  
キャラクター  
甲斐善之助

# 西部教育局からのお役立ち情報

## 今月のトピック紹介版

12月号

### 「めあてーまとめ・振り返り」を位置づけた授業づくり ～生徒の考えを深める授業の実践例・中学校国語編～

「めあてーまとめ・振り返り」を生かした授業実践については、この2学期、多くの学校で実践化が進んでいると聞いています。これは、次期学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」による授業改善にもつながり、全ての先生方に取り組んでいただきたい基本となる取組です。

本号では、中学校国語の『走れメロス』を取り上げ、板書例をもとに【めあてーまとめの設定例】と【振り返りの具体例】を示しました。本実践例をもとに、「社会科では・・・」「理科では・・・」と一人一人の先生方に「めあてーまとめ・振り返り」について考えていただき、各教科での実践につなげていただくための参考資料として、御活用ください。

### 冬休みを迎える子供たちと共に考えたいこと

現在、SNSなどのコミュニティサイトを通じた犯罪が、全国各地で広がっており、大人だけでなく、小中学生の被害も増加傾向にあります。冬休みは、子供だけで過ごす時間や大人の目が届かない時間が増えることで、その危険性は高まると考えられます。

冬休み前の個人懇談の折、保護者向け資料等に活用していただくとともに、学年や学級でSNSとの向き合い方について話し合ってみてください。

「めあてーまとめ・振り返り」を位置づけた授業づくり  
 ↓生徒の考えを深める授業の実践例・中学校国語編↓

走れメロス 太宰治

- ① 1 「めあて」
- 〈前時の振り返りより〉  
 ・メロスはすごい ・真の勇者  
 ↓肯定的意見  
 ・本当は弱い人間 ・友人を人質にした ↓否定的意見
- メロスの視点で書かれた描写に注目して、彼の生き方について自分の考えを深めよう。

地の文の一人称 「私」＝メロスの視点

場面	肯定的意見	否定的意見
出発	「私は、今宵、殺される。」 「未練の情」も断ち切り、友のために命を捨てる強い覚悟を感じた。	「そんなに急ぐ必要もない。」 鼻歌まで歌う姿は、やはり何も考えていないただの「単純な男」だ。
ピンチ	「私の命などは問題ではない。」 「私は信頼されている。」 一口の水で復活したのは「すごい」。	「私は負けたのだ。」 「私は王の言うままになっている。」 一時でもあきらめたのはひどい。
復活	復活、最後まであきらめなかった。 ピンチを越えて、さらに強くなった。	復活のきっかけ(水)もたまたまだ。 自分の力ではない。勇者ではない。

② 2 「振り返り」

◎考えてみよう 「私」＝メロス 「おまえ」＝メロス

「走れ！メロス」「メロス、おまえの恥ではない。やはり、おまえは真の勇者だ。」  
 どちらが本当のメロスなのか？ メロスは「真の勇者」か？

③ 3 「まとめ」

・最初は命をかけて信頼に応えようとするメロスを尊敬したが、一時のあきらめや、復活は偶然という意見を聞いて、「真」の勇者ではないと考えが変わった。↓変容  
 ・「走れ」と命令する側とされる側のどちらが本当のメロスなのか、考えれば考えるほどわからない。終末の「赤面」の理由も変わってくるのではないか。↓疑問

〈視点〉に注目し登場人物の気持ちに迫ることで、同じ場面や描写でも様々な捉え方ができ、考えが深まる。

振り返り

（例） はじめはただメロスはすごいと思っただけだったけど、いろいろな意見を聞いて、メロスの中にもっと複雑な感情があることに気付いた。（↓A）  
 視点が変わるたびに、読者もそこに引き込まれていくことがわかり、読みが深まった。（↓B）  
 A、解決した過程・学び B、獲得した知識・技能 C、情意面  
 他の作品を読むときも、視点を意識して読んでみたい。（↓C）

① 「めあての設定」

前時の振り返りから、子供の疑問や気付きを引き出し、めあてを設定する。



② 「まとめの設定」

学習指導要領の指導事項をもとに設定。  
 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。  
 （読むウ）

③ 教材を通して学んだ読みの視点を「まとめ」として提示することで、他の作品を読む際にも生かすことができるようにする。

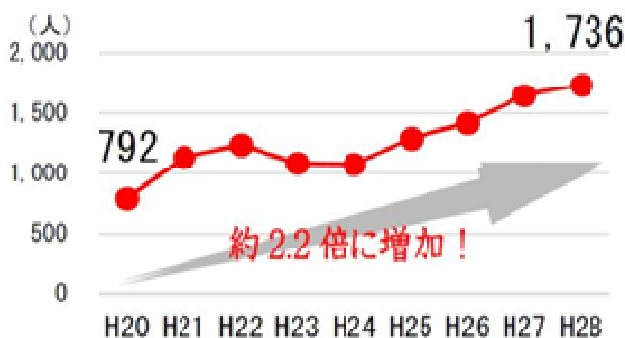
# 冬休みを迎える子供たちと共に考えたいこと

インターネットやアプリは、安全に正しく使うことができればとても役立つ便利なものです。しかし、事件に巻き込まれるきっかけになったり、いじめのきっかけになったりしているのも事実です。冬休みは、新たなゲーム機等の電子機器を手に入れる機会が多く、その使い方について再度問い直す必要もある時期です。本紙を活用して、学校や学級で、また保護者の皆様と考えるきっかけにいただければと思います。

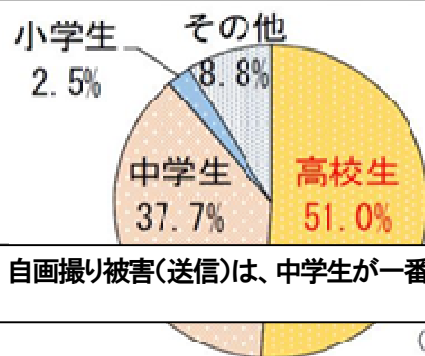
## ～インターネットの現状と傾向から～

### SNSなどのコミュニティサイトを通じた犯罪被害は、過去最多

コミュニティサイトで被害にあった子供の数 ※



コミュニティサイトで被害にあった子供の内訳 ※



自撮り被害(送信)は、中学生が一番の被害者に

(平成28年)

※【出典】警察庁・文部科学省「夏休みを迎える君たちへ～ネットには危険もいっぱい～」(平成29年6月27日公表)

## SNSとの向き合い方について話し合ってみましょう

ネットの向こう側の人を見きわめるのは大人でも簡単ではありません。犯罪に巻き込まれるケースも。

ゲームやSNSのIDやパスワードを他人に教え、被害にあうケースも。親しい友人にも教えないで。



SNSに写真や個人情報を掲載することで個人が特定され、付きまといにあうケースも。

無料アプリのボタン書き込み例  
名前→〇〇〇〇  
学校→△△△△  
次の人→□□

グループトークでは、ちょっとしたことで誤解や感情の違いが生じ、一瞬にして信頼を失うケースも。

リアルでもネットでも、やってはいけない行為は一緒。単なる書き込みと誤っていても、誹謗中傷等が、時には、法に触れてしまうことも。



【学校や家庭で読んで話し合ってみませんか？】

総務省「インターネットトラブル事例集」には、トラブルの事例やその対応について掲載されています。学校や家庭で事例をもとに、話し合ってみませんか？  
( [http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/kyouiku\\_joho-ka/jireishu.ht](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.ht) )

